

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(株)稲葉製作所 神奈川配送センター	階数	地上2F
建設地	神奈川県藤沢市桐原町13	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	14人
気候区分	地域区分	年間使用時間	2,080時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年8月	評価の実施日	2013年2月20日
敷地面積	4,960 m ²	作成者	(株)渡辺建築事務所
建築面積	2,632 m ²	確認日	2013年2月28日
延床面積	3,251 m ²	確認者	(株)渡辺建築事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
参照値: 100%
建築物の取組み: 77%
上記+: 77%
上記+: 77%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項

総合	その他
工場(物流センター)内部を有効に利用できるようシンプルな矩形の形状とし、周囲に圧迫感を与えないよう高さも10m以下に抑えた。2階事務室の入口と認識しやすいようBOX型で外壁が黒系の階段室を設けた。敷地周囲に配慮し、敷地境界沿いに緑地を設けた。	0
Q1 室内環境 2階事務室の遮音性、シックハウス対応に配慮した。	Q2 サービス性能 事務室の天井高を2.7mとし、窓も設け利用者にとって圧迫感の無い空間とした。また物流センター内は天井高8.3m確保し、ゆとりのある空間とした。
Q3 室外環境(敷地内) 敷地面積の約20%を緑地とし、緑豊かな工場となるよう配慮した。	
LR1 エネルギー LED照明を多用し、照明の効率化を図っている。	LR2 資源・マテリアル 水資源保護に配慮し、節水ゴマ、少水型機器を採用した。また、エコマークを取得したタイルを採用した。
	LR3 敷地外環境 敷地内に緑化ブロックの駐車場を設けたり、搬入出のためのトラックヤードを設けるなど、敷地内の交通負荷抑制に配慮した。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される